遠隔オートロックを設定する

A5523Tを紛失した場合などに、特定の電話からA5523Tへ電話をかけて着信を繰り返すことにより、A5523Tを他人が使えないように遠隔操作でM411「オートロック」を「ON」に設定して、オートロックへのアクセス制限をかけることができます。
遠隔オートロックを利用するには、あらかじめM412「遠隔オートロック」を「ON」に設定し、動作条件（指定時間、着信回数、データ消去、発信元一覧）を設定します。

遠隔オートロックの動作条件を設定する

1 **● 4 1 2 ⇒ロックNo.を入力し、● （OK）**

2 **「ON」を選び、● （決定）**

≫設定を解除するには、「OFF」を選びます。

3 **項目を選び、● （選択）**

指定時間	最初の着信から、設定した回数の着信があるまでの制限時間を01～10分（2桁）の間で設定します。 1 **時間を入力し、● （決定）**
着信回数	遠隔オートロックが起動するまでの着信回数を03～10回（2桁）の間で設定します。 1 **着信回数を入力し、● （決定）**
データ消去	遠隔オートロックが起動したときに、自動的にA5523Tをメモリリセットするように設定します。 1 **「ON」／「OFF」を選び、● （決定）** 2 **「はい」を選び、● （決定）**
発信元一覧	発信元一覧画面で、発信元を3件設定できます。 1 **発信元1～3を選び、● （編集）** 2 **「電話番号入力」を選び、● （選択）** ≫公衆電話からの着信で遠隔オートロックを有効にするときは「公衆電話」を選びます。 ≫電話番号入力時に、📖（サブメニュー）を押すと、アドレス帳、発信履歴、着信履歴、Cメール送信履歴、Cメール受信履歴、ダイヤルメモから電話番号を選んで発信元に設定することができます。 3 **電話番号を入力し、● （確定）⇒アプリ （戻る）**

4 **アプリ （登録）**

・発信元一覧画面／詳細画面で表示されるサブメニューは以下の通りです。

削除	発信元を削除

・M412「遠隔オートロック」の「データ消去」が「ON」になっているときは、「発信元一覧」に「公衆電話」を登録できません。また、「発信元一覧」に「公衆電話」が登録されていたときは、「データ消去」を「ON」に設定できません。
・遠隔オートロックの「指定時間」内に「データ消去」の設定を変更したときは、「指定時間」と「着信回数」のカウントがリセットされ、設定済みの指定時間、着信回数で最初からカウントし直します。

登録した電話からA5523Tをロックする

M412「遠隔オートロック」で登録した発信元からの着信が、「指定時間」に設定した時間内に「着信回数」に設定した回数に達すると、A5523Tがロックされ、オートロックを設定した旨のガイダンスが流れます。

- ・オートロックを遠隔操作で解除することはできません。
- ・遠隔オートロック操作中にA5523Tで電話に出たり、着信拒否したり、簡易留守メモが起動しても、その着信はカウントされます。また、M43「着信拒否設定」で設定した電話からの着信もカウントされます。遠隔オートロックに関する初期値は、巻末をご参照ください。
- ・遠隔操作をするときは、発信者番号を通知して電話をかけてください。非通知・通知不可の着信はカウントされません。
- ・A5523Tの電源が入っていなかったり、A5523Tがサービスエリア外にあったとき、M52「電波OFFモード」が「ON」になっていたときは、遠隔オートロックを起動することができません。
- ・指定時間を過ぎても設定した着信回数に満たないときは、着信回数がリセットされ、遠隔オートロックは起動しません。
- ・着信回数は登録してある電話番号ごとにカウントされます。
- ・着信回数のカウント中に以下の操作を行うと、それまでにカウントした着信回数はリセットされます。
  - M412「遠隔オートロック」の「指定時間」、「着信回数」を変更したとき
  - M451「機能リセット」、M455「オールリセット」を行ったとき

- ・A5523Tをロックしているときは、待受画面でロックNo.を入力し、● （OK）を押すとロックが一時的に解除されます。

登録した番号からA5523Tのメモリリセットを行う

M412「遠隔オートロック」のデータ消去を「ON」に設定したときは、登録した電話から、設定した条件でA5523Tに電話を繰り返すと、データ消去する旨のガイダンスが流れて、A5523Tがメモリリセットされます。

- ・メモリリセットで消去されるデータは、「リセットされる項目」（P.318）をご参照ください。ただし、M411「オートロック」、 M412「遠隔オートロック」、M413「ロックNo.変更」はリセットされません。

各種制限を設定する

発信関係の機能やアドレス帳などに関する操作を制限することができます（アクセス制限）。

1 ● 4 2

2 **設定する項目を押す**

1「ダイヤル発信制限」	ダイヤル入力や発信履歴、着信履歴、ダイヤルメモなどからの発信を制限し、アドレス帳呼び出しからの発信のみ可能とします。
2「アドレス帳制限」	アドレス帳やペア機能の呼び出しなど、アドレス帳に関する表示／操作を制限します。
3「メール制限」	Eメール／Cメールに関する操作を制限します。
4「EZweb制限」	EZwebに関する操作を制限します。
5「EZアプリ制限」	EZアプリメニュー、EZアプリ、EZナビウォーク、安心ナビ、EZ·FMの起動を制限します。
6「データ発信制限」	Packet通信の発信を制限します。
7「ハロー制限」	Hello Messengerの起動を制限します。
8「シークレット」	他人に知られたくないアドレス帳やスケジュールをシークレット登録することができます。シークレット登録した内容は、シークレットを「ON」に設定しない限り、表示されません。

3 **ロックNo.を入力し、● （OK）**

4 **「ON」※／「OFF」を選び、●**

※M422「アドレス帳制限」の場合は、「ON（名前表示なし）」／「ON（名前表示あり）」を選びます。